

8月の主な行事

3日～7日 保護者懇談
13日～16日 学校閉庁日
17日 始業式
27日 実力テスト
30日 P T A 奉仕作業

<教育目標> 自律 自啓 自尊 他尊

東 雲

<http://kanuma-school.ed.jp/j-higashi/>

【発行者】

栃木県鹿沼市立東中学校
住所 鹿沼市府中町393
電話 0289-62-7225
FAX 0289-62-7226
校長 斎藤 美智雄

新しい生活様式のもと

六月一日より、学校が再開しました。一ヶ月がたち現在の生徒の様子は、新型コロナウイルス感染症対策を考え、毎朝検温し登校、給食は前を向いて無言で、といった新しい生活様式のもと学校生活を送っています。そんな制約が多い中でも、生徒達は新しい級友と交流を図り、早く打ち解けて楽しい生活を目指しているように見受けられます。

本来なら、一年生も学校生活に慣れ、運動会等を通して学級の絆が深まっている。二、三年生においては、夏の大会に向けて必死になって取り組んでいるはずなのに……とコロナウィルスを恨むことが沢山あります。三年生にとつての最後の大会やコンクールの中止が伝えられ、気持ちの整理がつかず、悶々とした状態の時があったと思います。

しかし、そんな中、ある部の三年生は、まだ部活動が実施できない時期に、自ら進んで、休み時間に活動場所の整地や草むしりをしていました。「どうせこんなことしても大会ができないかもしれない。」と自暴自棄になってもおかしくない状態なのに。今後入部してくる一年生のために、連日整地していました。その心の大きさに、潔さに大人も脱帽です。今年度は始まったばかりです。やっと部



活動が再開し、一年生も、仮入部を経て部活動が決まり、放課後の元気な生徒達が戻ってきました。とは言えスタートから一ヶ月が過ぎ、これまで必死に頑張ってきた生徒達にも、少し疲れが見えて取れます。今年は夏休みも時期がずれ、短いので息切れしないように、新型コロナウイルス対策と熱中症対策をとりながら生徒支援に努めていきたいと思っています。地域・御家庭におかれましては、コロナ禍でも前向きに頑張る東中生の応援をよろしく願います。

教頭

授業参観懇談

七月一日～三日にかけて、授業参観・学年懇談を実施しました。

学級担任の授業を参観していただきました。学年懇談会では、六月の学校再開後の新型コロナウイルス感染症対策や、生活や学習の様子、今年度の学年行事の実施についての説明をしました。

特に一年生は自然体験学習について、二年生はマイチャレンジの中止や検討中の立志記念行事について、三年生は修学旅行の現状について説明させていた



できました。お忙しい中の多くの御参加と駐車場への御協力に感謝申し上げます。

教務主任

学校評議委員会

六月十八日(木)に学校評議委員会を開催し、五名の評議員の方に御参加いただきました。学校評議員会では、最初に、学校長が本校の教育目標や今年度の重点課題等について、各担当者が教育課程、学習指導、生徒指導、保健安全等について説明をしました。

次に、これらの説明を踏まえて、学校評議員の方々から、「東中のホームページが充実しているの、さらに続けてほしい。」や「東中は大規模校であるが、生徒一人一人に丁寧に対応していただいている。生徒たちは高校でも、自分の力を発揮し活躍している。」などの御意見をいただきました。また、「学校は再開したが、学校生活に馴染めない生徒はいないか。また、それらの生徒にどのように対応しているのか。」や「学校休業期間の学習内容は、どのように取り組んでいるのか。」など、新型コロナウイルス感染症対策に係る質問を多くいただきました。

本校では、学校評議員会でいただいた貴重な意見や質問等を生かしながら、教育活動の一層の充実に努めて参ります。



教頭

夏休みにじっくり考えよう

この夏は、お子様と将来のことや進路のことについてじっくり時間をとってみませんか。

「自分から勉強する子」は、勉強する意味を明確に理解している割合が高い傾向にあることが、ある調査結果から明らかになっています。親と、将来や進路について話をすると



答えた子どもは、比較的勉強時間が長いという傾向も見られました。

一般的に、人間は、小さい頃は「どうして?」「もつと知りたい」といった知的好奇心によって学習意欲が高められていると考えられています。しかし、成長と共にそれらは低下してきてしまいます。そこで、学習意欲を高めるものが目的意識です。理想の自分と現在の自分とのギャップを理解し、それを埋めるといった目的をもって学習する姿は理想型です。しかし、中学生の時点で、自分一人での将来のことや進路のこと、理想の生き方等について考えを深めていくには周囲の支えが必要です。学校でもキャリア教育を推進しておりますが、子供にとって一番効果的なのは、家族と話すことではないでしょうか。何度も何度も家族と話したり時間を共にしたりすることで、お子さんは少しずつかもしれませんが、自分から学習に向かうようになっていくのだと思います。大切にしたいことは、学習する「行為」ではなく、学習する「意味」だと、考えます。



学習指導主任

安全 安心な夏休み

八月一日(土)から八月十六日(日)の十六日間が今年の夏休みです。例年より短い休みですが、有意義に過ごしてほしいことから、以下のことを学校では指導しております。地域や御家庭におかれましては御理解と御協力をお願いします。事故防止について

以下の確認と御指導をお願いします。

- ・ 交通事故防止(終業式と始業式の前後数日間には特に事故が多い)
- ・ 不審者対策(外出時の注意、避難場所の確認)
- ・ 火災防止(花火は保護者同伴)
- ・ 水難事故防止(河川は遊泳禁止)
- ・ 熱中症予防(こまめな水分補給)

新型コロナウイルス感染防止について

- ・ 基本的な感染症対策を引き続きお願いします。
- ・ 感染源を絶つ(毎朝の検温、風邪症状の確認)
- ・ 感染経路を絶つ(手洗い、咳エチケットの徹底)
- ・ 抵抗力を高める(十分な睡眠、適度な運動、バランスの取れた食事)

公の場でのマナーについて

- ・ 「校外の公の場」です。東中生としての自覚をもつての生活を心がけてください。
- ・ 非行防止について
- ・ 次のことについて御家庭で話し合ってください。
- ・ 法律に反する行為の防止(喫煙・飲酒・万引き・無免許運転など)
- ・ 夜間外出・外泊の禁止
- ・ SNSによるトラブル防止
- ・ 外出時は午後六時までの帰宅

生徒指導主事

心のタミ

新型コロナウイルス感染症に起因する様々な悩みやストレス等の把握と解消のため、心と身体のアンケートを継続して実施しています。

「学校で過ごすことは疲労感を感じる」「以前の生活リズムに戻したいが体が追いつかない」等を感じている生徒が沢山いました。その一方で、「学校は大変であるが意外と楽しい」「友達と話せることは一番の幸せ、授業が出来ることはありがたい」等、当たり前前の生活が貴重なものだと感じた生徒もいます。

五月十三日実施のアンケートでは不安を感じている生徒が約四割でしたが、六月三日実施の調査では三割に減少しました。学校で仲間や先生の顔を見て話すことは生徒のビタミンになっていると思われる。学校は勉強の他に、生活リズムを整えたり、人間関係を築いたりする大切な役割を担っていることを実感しました。今後もアンケートを継続して実施し、生徒の心に寄り添い、支援していきます。

教育相談担当

進路指導について

例年、夏休みに行われている私立高校の一日体験学習は、今年はインターネット申込みによる予約制となりました。一方県立高校の一日体験学習は中止となりました。そのため本校では、市内四校の県立高校の先生を招き、進学説明会を実施する予定です。

今年度からキャリア・パスポートが導入され、自身の成長を振り返る場面が増えました。お子様の興味・関心や適性に合わせて、進路情報を収集し、御家庭でお話しいただけると、お子様の進路実現に向けた取り組みが促進すると思われます。

進路指導主事

